

「食育月間」の取組実績

都道府県名	兵庫県
取組市町村名	尼崎市(尼崎市保健所健康増進課)
取組の名称	環境イベント『エコあまフェスタ2016』における連携した取組
取組内容	<p>環境イベント『エコあまフェスタ2016』に食育サポーターの会、尼崎市保健所健康増進課が参画し、環境「エコ」と「食」を関連付けた食育の普及啓発を行った。</p> <p>○日時 : 6月4日(土) 10:00~15:30</p> <p>○場所 : 塚口さんさんタウン スカイコム広場</p> <p>○テーマ : 「100周年。エコでモリモリ! あまがさき」</p> <p>○趣旨 : ひとりひとりが環境について学び、考え、活動の輪を広げるために環境モデル都市・尼崎で活動している市民団体、企業、行政の関係者が一同に会し、それぞれの活動内容を地域社会にアピールし、相互に交流する。</p> <p>○内容</p> <p><u>(1)食育ブース:野菜のヘタを使って楽しくアート(食育サポーターの会)</u> 野菜のヘタで、いろいろな色のスタンプ台を使用して好きなサイズの用紙に極上のアートを描いてもらう。</p> <p><u>(2)ステージ:野菜ビンゴゲーム 尼崎産の野菜を知ってるかい?(健康増進課)</u> JA兵庫六甲に尼崎産のお米、野菜(シロナ、カブラ等)を提供していただき、尼崎で作られる野菜について、ビンゴゲームで多くの市民に楽しみながら知ってもらった。 最初に、尼崎北高校のボランティア学生も「食育の歌うた」で踊り、盛り上げてくれた。</p> <p>○参加者の感想から 「尼崎市でも頑張って野菜や米を作ってくれている生産者があるんだ」 「野菜のヘタでこんなアートができた」</p>

食育に関心をもつきっかけになったかな?!



「食育月間」の取組実績

都道府県名	兵庫県
取組市町村名	西脇市
取組の名称	「自分のお弁当もトライやる!?」～トライやるウィーク中の「お弁当の日」実施について～
取組内容	<p>西脇市は、平成25年度から30年度までの5か年計画「後期教育振興基本計画（「え～まち西脇!! e（きょういく）ープラン」）」を策定しています。</p> <p>その中で、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの生活・学習基盤形成づくりを目的とした「子どもたちが作るお弁当の日」を実施しています。</p> <p>【対象者】 市内中学2年生 391名</p> <p>【期間】 平成28年6月6日(月)～10日(金)</p> <p>【内容】 生徒が120か所の事業所等で職場体験する「トライやるウィーク」中に、昼食として準備するお弁当を、生徒自らが献立作成を行い、食材の購入、調理、弁当箱への盛付け、片付けまで、生徒のできる範囲で実施します。お弁当を作ることで、家族への感謝の心の育成と共に食に対する関心を高めることを目的としています。</p> <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのため品数多く作る大変さに気付いた。 ・家族が弁当を持たせてくれることに感謝する気持ちが芽生えた。 ・トライやる短歌「おいしいな 仕事のお弁当 毎朝作った一週間」 （西脇市教育委員会作成リーフレットより抜粋） <p>【お弁当の日写真例】</p>



「食育月間」の取組実績

都 道 府 県 名	兵庫県
取 組 市 町 村 名	相生市(相生市健康介護課(相生市保健センター))
取 組 の 名 称	高校生を対象とした食育活動
取 組 内 容	<p>目 的：次世代を担う高校生を対象とした普及啓発活動を行うことにより、自身の健康状態や食生活の現状を振り返る機会を持ち、食習慣・生活習慣等の改善への意識の向上と行動の変容を促し、将来にわたって健康増進を図ることを目的とします。</p> <p>日 時：平成28年6月18日(土) 10時45分～14時30分</p> <p>場 所：相生高等学校</p> <p>対 象：高校生、保護者、地域の方等</p> <p>協力機関：相生高等学校、相生市、兵庫県赤穂健康福祉事務所、相生市いずみ会等</p> <p>内 容：●パネル等展示 *食生活を見直そう *清涼飲料水の糖分量展示(ペットボトルとスティック砂糖) *おやつのおよの量の量展示(フードモデル)</p> <p>●体験学習 食事バランスチェック(チェック表) ●資料配布 食育リーフレット等 ●試食 ゆず味噌入り人参ケーキ(相生市いずみ会)</p> <p>成 果：普段あまり接点のない若い世代に対し、食生活チェック体験や、眼でみて実感できるパネル等の展示見学により、食育へ関心をもってもらうよい機会となりました。</p>
	 

H28「食育月間」の取組実績

都 道 府 県 名	兵庫県
取 組 市 町 名 (学 校 名)	南あわじ市・洲本市組合立広田小学校
取 組 の 名 称	「広田梅林」に学ぶ ～収穫した梅を使った調理実習の実施～
取 組 内 容	<p>広田地区は、古くから梅の名所として知られています。学校の近くにある「広田梅林」は毎年きれいな花を咲かせ、多くの来園者を魅了しています。そして、その450本あまりの梅は、老人クラブを中心とした地域の方々によって大切に管理されてきました。</p> <p>毎年、3年生の子どもたちは、総合的な学習の一環として、広田梅林の梅の収穫の作業に参加してもらっています。また、収穫した梅を使って梅シロップや梅干し作りなどにも挑戦し、梅に関係した様々な体験活動に取り組んでいます。</p> <p>1. ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広田」と「梅」のつながりを知り、「広田」をもっと好きになろう。 ・「梅」の効能を知り、「梅の調理」を通して、先人の知恵に気づこう。 ・様々な活動を通し、地域の方々にもふれあい、喜びと感謝の気持ちを持とう。 <p>2. 実施内容(6月分)</p> <p>① 梅の収穫作業(手伝い)</p> <p>6月10日(金)広田梅林で梅の収穫作業を手伝いました。子どもたちは、老人クラブの方に実の取り方を教わりながら、競うように実を取っていました。収穫した梅の実をさわったり、匂ったりして、うれしそうに観察していました。作業しながら、老人クラブの方々との会話もはずみ、楽しい時間を過ごしました。</p> <p>参加者:3年生 2クラス53人、老人クラブ約30人</p> <p>② 梅をつかった調理実習(梅干し作り・梅シロップ作り)</p> <p>6月14日(火)収穫してきた梅の実をさっそく調理しました。地域の料理研究グループ「いずみ会」の方々に作り方を教えていただきました。梅干しや梅シロップを作るのは初めての子どもたちが多く、どの子も興味を持ちながら熱心に作業を進めていました。子どもたちは「早く梅シロップができないかな」や「梅干しすっぱそうだけど、早く食べたいな」と声を弾ませています。</p> <p>参加者:3年生 2クラス53人、いずみ会8人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>梅の収穫～老人クラブの人達と～</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>梅を使った調理実習 ～いずみ会の人達と～</p> </div> </div>

「食育月間」の取組実績

都 道 府 県 名	兵庫県
取 組 市 町 名	全域(兵庫県農政環境部農政企画局楽農生活室)
取 組 の 名 称	かまどごはん塾
取 組 内 容	<p>おいしいごはんを食べよう県民運動の一環として、食習慣の形成上、特に重要である幼児期の子どもとその保護者に対し、「かまど炊飯による感動体験」と「保護者への食育講義」を組み合わせた啓発活動を実施しました。</p> <p>園児達が、元気に薪割りや火おこしをして、かまど炊飯にチャレンジしている中、保護者の方々は、「ごはんを食べることの大切さ」についての講義を聴きました。</p> <p>最後には、かまどで炊いたごはんをみんなで食べ、たくさんの「おいしい」笑顔が園内に咲き誇りました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>かまど炊飯</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>食育講義</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>炊きあがったごはん</p> </div> </div> <p>※兵庫県では、「お米」を通じて健康的な食生活の在り方や農業・農村の役割、食料問題を考え、「ごはん」を中心とした食生活の良さを広く県民にご理解いただくために、県内の団体、企業、行政等が一体となって「おいしいごはんを食べよう県民運動」に取り組んでいます。</p> <p>【実施概要】</p> <p>(1)日時</p> <p>① 6月21日 (火) 10時10分～12時00分</p> <p>② 6月28日 (火) 9時55分～11時45分</p> <p>(2)場所</p> <p>①瑠璃こども園 (姫路市網干区大江島寺前町120-2)</p> <p>②潮見幼稚園 (芦屋市塩見町1-3)</p> <p>(3)参加者</p> <p>①計108名 (児童71名、保護者30名、教諭7名)</p> <p>②計210名 (児童100名、保護者52名、教諭10名)</p> <p>(4)内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かまど炊飯体験【児童対象】 ・ 保田 茂 氏 (神戸大学名誉教授) による食育講義【保護者対象】 ・ かまどで炊いたごはんの試食【児童・保護者対象】